

事業報告

令和4年度 第1回 大分県公立図書館等職員研修会

日 時	令和4年5月16日(月) 10:00~16:00
参加者	昨年度の研修の録画を視聴、県立図書館以外の参加者については、動画配信 公立図書館等職員 37名

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、日常業務に伴って生じる課題を解決できるよう、知識やスキルを学ぶことにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

<研修内容>

【講義1】 講義 「図書館サービスについて」

講師 県立図書館 サービス課 課長 増本 貴光

講義内容

図書館とは何か、
図書館に関わる法律、
公立図書館に求められる役割

【講義2】 講義 「児童サービスについて」

講師 県立図書館 サービス課 主幹司書 辻 さやか

講義内容

児童サービスの基本について、
児童図書館員の役割
蔵書構成
環境整備、展示、選書について

【講義3】 講義 「郷土資料について」

講師 県立図書館 サービス課 司書 矢倉 美里

講義内容

レファレンスサービスについての基本的な事項
郷土資料の収集・保存の意義
県立図書館の整理、保存
情報提供の工夫
資料を劣化させないための取り扱い方

【講義4】 「市町村図書館における県立図書館活用方法について」

講師 県立図書館 学校・地域支援課 主任司書 龍現寺 絢子

講義内容

貸出サービス、
研修など市町村図書館向け事業の説明
館内見学

<当日の様子(写真)>



<参加者感想>

- ◇非常にわかりやすく構成されていてよかった。
- ◇図書館のことを何も知らなかったので、学ぶ機会があって、とてもよかった。
- ◇自分のペースで受講できたので有り難かった。
- ◇著作権の部分は難しかった。
- ◇NDCなどの初歩まで説明してもらえるとさらに理解できたと思う。
- ◇雑音がひどい講義があり、聞き取りにくかった。